

追悼特集 大橋靖雄先生と日本臨床試験学会

巻頭言

追悼特集に寄せて

東北大学大学院医学系研究科医学統計学分野 /
東北大学病院臨床試験データセンター
山口 拓 洋

日本臨床試験学会の前身である日本臨床試験研究会設立時（2009年9月1日）から代表理事を務められ、本学会の発展に多大なる貢献をされた大橋靖雄先生（中央大学教授、東京大学名誉教授）が2021年3月11日に急逝されました。本学会創立の中心的存在であった大橋先生を追悼し、併せて学会活動におけるご業績にも触れることが出来るよう、編集委員会にて企画を検討いたしました。ご執筆をご快諾いただきました先生方には、心より感謝申し上げます。学会員のみなさまには、お一人おひとりの思い出とともに、本学会を産み育ててくださった大橋先生のご活躍をたどることが出来れば幸いです。

大橋先生はわが国における生物統計学のパイオニアであり、臨床試験・臨床研究の基盤整備にご尽力されました。そのご功績は、学会員のみなさまにはご周知のとおりであり、小生から敢えて述べることはいたしません。小生個人としては、東京大学医学部保健学科に進学が決まった1991年の秋、同学科に所属する各研究室が担当された保健学に関するオムニバスの講義があり、大橋先生のご講義を初めて拝聴しました。とにかく面白かった。衝撃的であり、わくわくしました。もともと数学に興味があり、医学健康科学において数理が活かせるような分野に進みたいと、漠然と思っていた小生にとって、道を切り開いてくれた感がありました。以降、大橋先生からはたくさんのことを学ばせていただき、感謝しかございません。

前号に掲載された代表理事就任のご挨拶にて述べさせていただいたとおり、大橋先生のご意志を引き継ぎ、本学会のさらなる発展を目指すべく、学会員のみなさまにはより一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

大橋靖雄先生、これまで本当にありがとうございました。ゆっくりおやすみください。
合掌

《大橋靖雄先生ご略歴》

- 1954年 福島県福島市に生まれる。
- 1976年 東京大学工学部計数工学科卒業。
- 1979年 東京大学工学部助手。
- 1982年 東京大学工学博士（論文博士）。
- 1984年 東京大学医学部附属病院中央医療情報部講師。
- 1990年 助教授（1988年）を経て、東京大学医学部保健学科教授に就任。
- 1992年 わが国初の生物統計学を冠した正式な講座（疫学・生物統計学）を創立。
- 2001年 NPO法人日本臨床研究支援ユニット理事長。
- 2003年 財団法人パブリックヘルスリサーチセンター理事。
- 2005年 スタットコム株式会社取締役会長。
- 2006年 NPO法人日本メディカルライター協会理事長。
- 2009年 社団法人日本臨床試験研究会代表理事。
- 2014年 中央大学理工学部教授、東京大学名誉教授。

懇親会での大橋靖雄先生（第9回学術集会総会 in 仙台にて）

